

代表質問

自由民主党の会

大網駅南地区の取組み状況について

北田 宏彦 議員



問 仏島地区に市の管理する道路の一角に古井戸がある。

現在、使われておらず、上部に古いコンクリート板を乗せて、周囲にバリケードを置き、応急的な安全対策をしているが、井戸の周囲の除草管理はしておらず、バリケードが風で飛ばすも度々ある。

古井戸の所有者、管理者は誰なのか。当該井戸の所有者は法定外道路の余剰地を所有している市となる。建設課が、転落防止の安全面における管理を行っている。

古井戸は利用可能か伺いたい。利用可能であれば、災害に伴う断水時等に地域住民の生活用水として利用してはどうか。

利用出来ないのであれば、速やかに撤去し、周辺の住民の安全の確保を図り、景観の保全を図るべきと考えるがどうか。

井戸内の地下水が確認できたが、長年使用されていない為、利用可能か否かは、確認出来ない。井戸の活用あるいは撤去については、地元地区の意見や利用状況を伺い検討したい。

地区住民の意向を確認した上で、しっかり対応して頂きたい。

「大網病院の経営・財務マネジメント強化事業」について伺いたい。総務省の経営・財務マネジメント強化事業によりアドバイザーの派遣を受け、1年が経過した。その後の状況について伺いたい。

今後の人口構造や医療需要の推移など多角的な分析を踏まえ、「病院経営分析と提言」が提出された。今後、大網病院が取り組むべき内容を精査し、医療サービスの向上と収益の安定化に取り組んでいきたい。

問 アドバイザーからどのような指導を受け、どのような成果があったのか伺いたい。

病院経営を取り巻く環境や自治体病院の現状のほか、現場の課題への対応に当たり注意すべき事項や病院職員としての心構え、人口推移に伴う医療需要の変化への対応や病床稼働率向上の意識づけなど、多岐にわたる提言項目となっている。

院内各部署から経営改善に対する意見提案を募集し、新たな施設基準の取得に係る専門研修への参加など、経営改善するための具体的な提案や要望が寄せられた。

職員が主体的に病院の収益向上を考えるようになるなど、経営改善に向けた強力な意識醸成が図られた。

大網病院の減資を行う議案が提出されているが、経営計画の見直しが必要ではないか。

経営強化プランの見直しを提言書における内容の検討、分析を進めながら、市民病院としての立ち位置を踏まえ、取り組んでいく。

アドバイザーからの提言書を受け適切な見直しをお願いする。

「大網駅南地区のまちづくりに関するサウンディング市場調査」を実施したが、調査の内容、結果等について伺いたい。

民間事業者から見た市場性の有無、まちづくりに関する提案、事業手法など幅広く意見を伺うことを目的に意見交換を行った。

事業の実現性については、地権者の皆様の合意形成が大前提であり、事業計画の検討は、民間事業者のノウハウやネットワークを生かし進めていくことが有効である。などの意見を頂いた。

問 調査結果を踏まえ、どのように事業化に向けて進めていくのか。

大網駅南地区まちづくり方針を策定し、官民連携による手法を活用し、事業化検討パートナーの公募を実施したい。

市は、駅南地区に事業に供する土地を所有しておらず、3億円あった開発基金も令和2年に廃止し財政調整基金に繰入れ、お金はない。

地権者にどうしたらいいか。民間事業者にどうしたらいいか。話を聞くだけで、具現化できずにいる。

市場調査も、市や地権者だけでは思いつかないような民間事業者ならではのアイデアや、土地活用方法などを収集できることが期待されるとしていたが、人任せで市の主体性が見えない。

大網駅南口をこのような整備手法により、駅前賑わいと生活の利便性を高めていく意思を示すことが必要ではないか。

まちづくり方針案を作成して、早期の事業化に向け大いに期待する。

関連質問 ごみの減量とリサイクルの推進及び市有バスについて

関連質問

田辺 正弘 議員



市バスが利用しづらくなったという声を聴きかけは、規制改正をいつ、どの様なことを目的としておこなわれたのでしょうか。

市有バスの運行につきまして、規則の改正前は、使用目的の公益性が必ずしも高いとは言えない事例が散見され、観光や親睦を主たる目的とする、無料の観光バスのような使用が増加しておりまして、この様な状況を踏まえ、関係課等と協議を重ねた上で、「大網白里市市有バスに関する規則」の改正を行い、平成31年4月に施行しました。

問 調査結果を踏まえ、どのように事業化に向けて進めていくのか。

大網駅南地区まちづくり方針を策定し、官民連携による手法を活用し、事業化検討パートナーの公募を実施したい。

市は、駅南地区に事業に供する土地を所有しておらず、3億円あった開発基金も令和2年に廃止し財政調整基金に繰入れ、お金はない。

地権者にどうしたらいいか。民間事業者にどうしたらいいか。話を聞くだけで、具現化できずにいる。

市場調査も、市や地権者だけでは思いつかないような民間事業者ならではのアイデアや、土地活用方法などを収集できることが期待されるとしていたが、人任せで市の主体性が見えない。

大網駅南口をこのような整備手法により、駅前賑わいと生活の利便性を高めていく意思を示すことが必要ではないか。

まちづくり方針案を作成して、早期の事業化に向け大いに期待する。

関連質問 ごみの減量とリサイクルの推進及び市有バスについて

関連質問

田辺 正弘 議員



市バスが利用しづらくなったという声を聴きかけは、規制改正をいつ、どの様なことを目的としておこなわれたのでしょうか。

市有バスの運行につきまして、規則の改正前は、使用目的の公益性が必ずしも高いとは言えない事例が散見され、観光や親睦を主たる目的とする、無料の観光バスのような使用が増加しておりまして、この様な状況を踏まえ、関係課等と協議を重ねた上で、「大網白里市市有バスに関する規則」の改正を行い、平成31年4月に施行しました。

問 消防力の充実、市民の命と暮らしを守る要だと私は思っている。2021年、団員の報酬等の見直し、消防庁から求められた。出勤報酬と支払い方法などについてお答えください。

条例改正案での報酬は、団長が16万円、副団長が10万円、分団長が7万円、副分団長が6万円、部長が4万8,000円、班長が3万7,000円、副班長及び団員が3万6,500円です。また、手当は、火災出動手当は従事した時間に応じて支給する、1時間未満は1,000円、2時間未満は2,000円、4時間未満は4,000円、4時間以上は8,000円としております。

国の基準では、団員の報酬は年額3万6,500円、出動手当は1日当たり8,000円が標準。団員報酬及び出動手当ともに国の基準を満たすものとなります。支払いについては、年2回、団員個人口座に振込を行います。

消防団の制服の支給や備品などの購入はどうなっているのか。

昨年度、消防団員の活動服は21年が経過したこと、更新を行う、全ての団員に新たな活動服とアポロキャップを貸与しました。

人間ですから、成人でも成長することはある。定期的に、新調していただきたい。要望します。

操法について、千葉県がおこなったアンケートでは「訓練にやりがいを感じる」8.2%、「操法技術の習得が必要である」28.9%。「訓練の負担が大きい」71%もある。

「大会には出場したくない」も約50%の方が答えている。さらに「実践的ではない」は52.3%、その他が9.3%となっている。このよう

個人質問

日本共産党

消防団員への処遇改善などは急務 小学校の学校給食無償化が始まる

佐久間 久良 議員



な声は調査だけでなく、私のところにも寄せられた。

ポンプ操法の大会について、市の考えを伺いたい。

消防ポンプ操法大会を含めて、大会までの訓練や事前準備が団員の負担になっているという声もあり、団員の負担を考慮して、消防団本部と協議し、令和6年度より隔年開催、偶数年の開催としました。

令和8年度は大会を開催することになりますが、開催方法や大会に向けての訓練等については、操法大会の目的や消防団員の意向を踏まえ、消防団本部と協議していきたいと考えています。

そういう声は聞いていますとありました。操法以外の方法も考えていただきたい。

問 学校給食について、4月以降の小学校の給食無償化は行われるのか。また中学校はどのようになるのか。

小学校は、国において、実質的な無料化の方針が示されています。本市でも実施準備を進めており、所要額を新年度予算に計上しました。

なお、中学校は、学校給食費補助金を継続することで、保護者負担の軽減を図り、充実した給食の提供に努めてまいります。

小学校給食無償化は、国民運動の成果。憲法の義務教育無償の原則に基づき補助金の増額、中学校への給食無償化をより確かなものにしていく決意をこぞ述べておきます。

問 学校給食のアレルギー対応について伺います。

平成27年4月に食物アレルギー対応マニュアルを作成、随時見直し、対応しています。アレルギーの対応は非常に難しいことから、課題となっているのが現状です。